

『挑戦しつづける さらに元気な五霞町を めざして』

五霞町長 染谷 森雄



このたびの町長選挙におきまして、町民皆様方の力強いご支援と温かいご厚情を賜り、四期目当選の栄に浴し、引き続き町政の重責を担わせていただくことになりました。皆様から寄せられた期待とその責務の重さを改めて痛感しており、また、決意を新たにしたいところでもございます。

四期目は、「平成から令和」へと時代が変わる、五霞誕生百三十周年の節目の年ともなりました。先人が築き上げてこられた「礎」に敬意を表するとともに、本町が誇る素晴らしい地域性を守り、活かし、未来世代の期待に応える使命感を持って、新たな四年間を「町民目線」で「五霞町第一」「町民第一」、そして町民参加による「協働のまちづくり」をさらに前進させていく所存です。

日本全体で人口減社会に入り、地方自治体は、従来とは逆の縮小社会での持続可能なあり方を探らなければなりません。本町でも、

- 一、子育てしやすくするにはどうするか
- 一、老後も安心して暮らせるにはどうするか
- 一、移住希望者を選ばれる地域にするにはどうするか

- 一、人口減少に合わせた「コンパクトなまちづくり」や施設の統合をどうするか
- 一、道路や公共施設など老朽化対策と維持をどうするか
- 一、上下水道等の広域化、共同化等をどうするか

これらは、五霞町にとっても大きな課題であります。

本町では、2019年度に、今後二十年間の方向性を定める「第六次総合計画」を策定します。第五次総合計画の分析をきちんと行い、「継続すべき事業」「強化すべき事業」「新規事業」の方向性をしっかり見極め、五年後はもちろん、十年、二十年後を見据えた「土台づくり」がこの五年間です。町益を損なわないよう、スピード感を持って町政を進めて参ります。

新しい時代「令和」は、更なる人口減少、少子高齢化、技術革新、グローバル化などが予想され、本町を取り巻く環境は、加速度的に変わりますが、どんな時代にあっても、まちづくりの基本は「住民の生命、財産」が守られ、町民誰もが自分らしく生き生きと暮らせることです。この基本を守り、新たな時代が日本にとって、五霞町にとって、「令和」の言葉どおり心寄せ合い文化が育つ平穏な



職員から花束を受け取る町長

良き時代でありますようお願いいたします。

あわせて『飛躍の時を迎えている五霞町』の、誕生百三十周年目となる新たな時代のスタートを機に、先人、諸先輩から脈々と受け継がれてきた五霞の長い歴史を次世代へ引き継ぎ、【小さくともキラリと輝くまちごか】のまちづくりに「挑戦」し続けて参ります。

町民の皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

